

平成 29 年 9 月 26 日

報道各位

日本最大級のアワード
「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
総務大臣賞／ACC グランプリが決定！

※クリエイティブイノベーション部門は、9月12日（火）に発表済みの内容となっております。

（株式会社等の表記は一部省略させて頂きました。）

【フィルム部門】**A カテゴリー(テレビ CM)**

広告主：住友生命保険／ 商品名：1UP／ 題名：「海外、向こうで1UP 入国審査官の証言」篇／
「リフレッシュで1UP 常連の男の証言」篇／「試験で1UP 本人の証言」篇／「メモで1UP
リーダーの証言」篇／「定食で1UP 店主の証言」篇

B カテゴリー (Online Film)

広告主：ソニー・インタラクティブエンタテインメント／ 商品名：GRAVITY DAZE 2／
題名：GRAVITY CAT

【ラジオ CM 部門】

広告主：大日本除虫菊／ 商品名：おでかけカトリス・蚊がいなくなるスプレー・プレシャワー・虫よ
けキンチョール・キンチョール／ 題名：金鳥少年 2017 その1、その2、その3、その4、その5

【マーケティング・エフェクティブネス部門】

広告主：九州全県・山口県・沖縄県／ 商品名：ワーク・ライフ・バランス推進
キャンペーン名：九州・山口 ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン

【インタラクティブ部門】

広告主：東京都／東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
作品名：リオ 2016 オリンピック大会閉会式東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー

【メディアクリエイティブ部門】

該当なし

【クリエイティブイノベーション部門】

応募団体：TESS／東北大学／M2 デザイン／TBWA\HAKUHODO
タイトル：COGY/あきらめない人の車いす

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称 ACC：東京都港区、理事長：高田坦史）は、「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」の応募作品 2,641 本（内訳：フィルム部門：1,541 本（A カテゴリー-1,139 本・B カテゴリー-402 本）、ラジオ CM 部門：572 本、マーケティング・エフェクティブネス部門：87 本、インタラクティブ部門：184 本、メディアクリエイティブ部門：148 本、クリエイティブイノベーション部門：109 本／募集期間：6 月 1 日（木）～7 月 3 日（月）、4 部門延長）の中から、各部門において総務大臣賞／ACC グランプリほか、各賞を決定しました。

本アワードは、1961 年に創設された「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、これを継承する形で 2017 年より「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」に名称を変更し開催。わが国で最も規模が大きく、権威のあるアワードの一つとして知られています。

各部門の最終全国審査会は 9 月初旬～中旬に実施し、それぞれの分野で日本を代表する審査委員が厳正な審査を行いました。（審査委員は各部門の後に記載、委員長講評は p21、注 1 に記載）

6 部門の、総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールドの受賞作品、各クラフト賞等は p5～20 に記載しております。

なお、全入賞作品リストにつきましては、本日、9 月 26 日（火）18 時頃、ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 特設サイトに掲載します。

■ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 特設サイト 入賞作品発表ページ

http://www.acc-awards.com/festival/2017fes_result/

※以下、二重カッコ内作品情報は、『広告主／商品名／題名』の順番。

【フィルム部門】

A カテゴリー「地域賞」では、ACC ゴールドにも選出された、中国・四国地域の『ムラタ／村田葬儀社／旅立ち 男性／旅立ち 女性』をはじめ、計 7 地域・7 作品が選出されました。（p6 参照＝以下同）

また、B カテゴリーの総務大臣賞／ACC グランプリ『ソニー・インタラクティブエンタテインメント／GRAVITY DAZE 2／GRAVITY CAT』ほかを手掛けた柳沢翔氏にディレクター賞が、A カテゴリーの総務大臣賞／ACC グランプリ『住友生命保険／1UP／「海外、向こうで 1UP 入国審査官の証言」篇他、計 5 篇』では竹原ピストル氏に主題歌賞が、ACC ゴールド『GINZA SIX リテールマネジメント／GINZA SIX／GINZA SIX メインストリート篇』では椎名林檎氏に音楽賞が贈られるなど、個人へのクラフト賞も決定しました。（p7）

CM の企画力、アイデアのチカラを持つ「若手制作者個人」へエールを送るため、CM プランナーという日本にしかない職業を創出し発展させた歴史的な存在である小田桐昭氏の名前を冠した、「小田桐昭賞」（2013 年制定）では、B カテゴリーで総務大臣賞／ACC グランプリを受賞した『ソニー・インタラクティブエンタテインメント／GRAVITY DAZE 2／GRAVITY CAT』などを手掛けた、奥山雄太氏が受賞しました。（p 8）

【ラジオ CM 部門】

総務大臣賞／ACC グランプリは、『大日本除虫菊／おでかけカトリス・蚊がいなくなるスプレー・プレシャワー・虫よけキンチョール・キンチョール／金鳥少年 2017 その 1～5』が、昨年につき、2年連続での受賞となりました。

優れた作品を手掛けた 29 才以下の主制作者に贈る「アンダー29 賞」では、『トモエシステムズ／トモエグループ／ボンコバトモエさん①～③』の福居亜耶氏をはじめとする、7 氏・11 作品が受賞しました。

また、クラフト賞では、ACC ゴールド『パナソニック／全自動おそうじトイレラウナーノ／日本男児のトイレ事情「井村さん」篇、同・「三田村さん」篇、同・「土方さん」篇』を手掛けた、佐藤朝子氏、森田一成氏にディレクター賞が、また、前述の大日本除虫菊（総務大臣賞／ACC グランプリ）の作品に登場する、野田琴乃氏（高山さん役）、山隈祐太郎氏（大沢くん役）、遠岳大河氏（後藤くん役）、トモエシステムズ（ACC ゴールド）の作品に登場する盆子原巴氏が、それぞれタレント賞を受賞しました。
(p10)

【マーケティング・エフェクティブネス部門】

「規模には関係ない優れたマーケティング戦略と、効果的なクリエイティブ、表現によって、大きな市場的成果をあげた統合キャンペーン」を対象とする本部門では、総務大臣賞／ACC グランプリに『九州全県・山口県・沖縄県／ワーク・ライフ・バランス推進／九州・山口 ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン』が、ACC ゴールドに『UQ コミュニケーションズ／UQ モバイル／「UQ 家族」シリーズ』が受賞しました。なお、本部門では、8 月 4 日（金）にファイナリストとして全 20 作品の発表を行い、9 月の最終審査会にて各賞を決定しました。

【インタラクティブ部門】

「すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組み」を対象とする本部門では、総務大臣賞／ACC グランプリに、『東京都／東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会／リオ 2016 オリンピック大会閉会式東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー』が受賞しました。また、14 のカテゴリー別に秀でた作品を評価するカテゴリー賞では、「マスメディア×インタラクティブ賞」に『サントリーホールディングス／サントリーチューハイほろよい／ほろよいエリカ電話』ほか、13 賞・14 作品が選出されました。

また、クラフト賞では、『日清食品ホールディングス／日清のどん兵衛／クリスチャンラッセン かき揚げを、描きあげる。』の作品で、クリスチャン・ラッセン氏が「イラスト (ART WORKS)」を受賞するなど、1 チーム・5 名が受賞しました。(p16)

※以下、二重カッコ内作品情報は、『エントリータイトル／媒体社／広告主』の順番。

【メディアクリエイティブ部門】 ※2017 年度新設

「メディアのアセットを活用したクリエイティブティにより、新たな情報発信・コミュニケーションを実現し、広告主の課題解決に貢献したもの」を対象とした本部門において、創設初年度は、総務大臣賞／ACC グランプリは、「該当なし」という結果になりました。

なお、ACC ゴールドには、『歩くーぽん／琉球放送／琉球放送』、『INTERACTIVE LIVE CM／日本テレビ放送網／麒麟ビール』、『オロナミン C『20 年分のありがとう新聞』／朝日新聞社／大塚製薬』の

3 作品が、また、特別賞の「エリア&コミュニティー賞」には、『LEXUS NEW TAKUMI PROJECT／全国 50 紙／トヨタ自動車』など計 4 作品が選出されました。

※以下、二重カッコ内作品情報は、『エントリータイトル／応募団体』の順番。

【クリエイティブイノベーション部門】 ※2017 年度新設

対象期間（2016 年 1 月 1 日～2017 年 6 月 30 日）に上市または社会実装された「プロダクト&サービス」および、同期間に生み出された「プロトタイプ」を対象とした本部門では、9 月 11 日（月）、ヤフーのオープンコラボレーションスペース「LODGE」にて、最終公開プレゼンテーション審査会を実施しました。

その結果、初代 総務大臣賞／ACC グランプリには『COGY/あきらめない人の車いす／TESS、東北大学、M2 デザイン、TBWA\HAKUHODO』が、また ACC ゴールドは、『服づくり 4.0「WE ARE」／シタテル』が受賞しました。なお、ファイナリストを含む入賞作品については、9 月 12 日（火）に、報道発表を行っております。

なお、総務大臣賞／ACC グランプリをはじめとする入賞作品の贈賞式・記念パーティは、2017 年 11 月 1 日（水）に東京・溜池の ANA インターコンチネンタルホテル東京にて行われます。

また、入賞作品は 11 月 22 日（水）の東京発表会（イイノホール&カンファレンスセンター）を皮切りに、全国 30 ケ所で上映・公開します。

今後も、ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業やクリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、更なる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：石川、藤井、平川

フィルム部門 A カテゴリー (テレビ CM)
総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 広告会社 | 制作会社 |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------|--|--|-------------------------|---|
| 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 住友生命保険 | 1UP | 「海外、向こうで1UP 入国審査官の証言」篇/ 「リフレッシュで1UP 常 連の男の証言」篇/ 「試験で1UP 本人の証 言」篇/「メモで1UP リ ーダーの証言」篇/「定食 で1UP 店主の証言」篇 | 30 30 30 30 30 30 | TUGBOAT/ 博報堂 | 東北新社 |
| ACC ゴールド | 東海テレビ放送 | 報道局「公共キャ ンペーンスポット」 | カップル じゅりあん (31) 杉山文野 (35) 西原さつき (30) 岸田光明 (59) えま (27) えまの母 (59) | 30 45 45 60 45 30 45 | 電通 中部支社 | 東海テレビプロ ダクション/ ソーダコミュニ ケーションズ/ Zaxx |
| ACC ゴールド | GINZA SIX リテールマネジ メント | GINZA SIX | GINZA SIX メインストリート篇 | 90 | 電通 | 電通クリエイテ ィブX |
| ACC ゴールド | 新日邦 | コンコルド | パヤは動物篇 記者会見篇 ミドリ帰宅する篇 教授、髭そった篇 母の寝室篇 母子モーニング挨拶篇 ソフィー・インタビュー篇 ソフィー・解決篇 島田・インタビュー篇 島田・解決篇 カズキ振られる篇 カズキ生まれ変わる篇 | 30 15 15 30 30 30 15 15 15 15 30 30 | 静鉄アド・パー トナーズ/ダン | パラダイス・ カフェ |
| ACC ゴールド | 東京ガス | 企業 | 企業 家族の絆 やめてよ 90 | 90 | 電通 | 電通クリエイテ ィブX |
| ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | エール篇/サンクス篇/ ポカリガチダンス ありが とう篇 | 60 60 60 | 電通 | ギークピクチュ アズ |
| ACC ゴールド | ソフトバンク | 企業 | ありがとう総集篇 | 60 | シンガタ/ 電通/トレード マーク | ギークピクチュ アズ |
| ACC ゴールド | ムラタ | 村田葬儀社 | 旅立ち 男性 旅立ち 女性 | 60 60 | 電通西日本 松山支社 | ビデオ・ステー ション・キュー |
| ACC ゴールド | LINE | LINE モバイル | LINE モバイル 愛と革新。 (デビュー) 篇/ LINE モバイル 愛と革新。 (交差点) 篇 | 30 30 | 電通/ワトソ ン・クリック | 春企画東京 |

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 広告会社 | 制作会社 |
|----------|---------|---------|-------------------------|----------------------|-------------------------|----------|
| ACC ゴールド | 大塚製薬 | カロリーメイト | 夢の背中篇 | 120 | 博報堂/ catch/ ENOAD | AOI Pro. |
| ACC ゴールド | UHA 味覚糖 | さけるグミ | 店長と彼女 出張 契り 辞表 | 30 30 30 15 | 博報堂 | 東北新社 |

フィルム部門 A カテゴリー・地域賞

ローカル・クライアントのマーケティング・販促活動に資する優れた CM が各地で放送されることを目指し、また地元クリエイターが相互啓発するための活性役として地域賞を設けています。

| 地域 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 広告会社 | 制作会社 |
|----------|-------------------|----------------|---|----------------------|-----------------------|--------------------|
| 北海道 | マックアース リゾート北海道 | スノークルーズ オーズ | 12月 ONZE「出て こいやー篇」 | 15 | Office Mix | COVER |
| 東北 | 日刊スポーツ 新聞社 | 日刊スポーツ 企業 | 心電図 | 30 | — | 東北新社 |
| 関東・甲信越・静 | 三幸コーポレー ション | 企業 CM | 「ハイパーマン オープ ニング」篇/ 「ハイパーマン 第二話 予告」篇/ 「ハイパーマン 第三話 予告」篇/ 「ハイパーマン エンデ ィング」篇 | 30 30 30 30 | POOL | 博報堂プロダ クツ |
| 北陸・中部 | 鶴弥 | 防災瓦 | 耐える男たち | 90 | アサツー ディ・ケイ 中部支社 | スプーン |
| 近畿 | 京阪電気鉄道 | ひらかたパーク | 超ひらパー兄さん オマキャノン篇 | 15 | 博報堂 関西支社 | 東映シーエム 大阪支社 |
| 中国・四国 | ムラタ | 村田葬儀社 | 旅立ち 男性 旅立ち 女性 | 60 60 | 電通西日本 松山支社 | ビデオ・ステー ション・キュー |
| 九州・沖縄 | 清香園 | 清香園 | 意外な本音 | 15 | 電通 | ランニング |

**フィルム部門 B カテゴリー (Online Film)
 総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド**

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 広告会社 | 制作会社 |
|---------------------|-----------------------|------------------|---|--------------------------|----------------------------|-----------------|
| 総務大臣賞/ ACC グランプリ | ソニー・インタラクティブエンタテインメント | GRAVITY DAZE 2 | GRAVITY CAT | 247 | 博報堂 | 東北新社 |
| ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY | 316 | SIX/博報堂/ コスモ・コミュニケーションズ | AOI Pro. |
| ACC ゴールド | 有楽製菓 | ブラックサンダー | episode1.「黒いイナズマ登場」篇/ episode2.「三"充"土現る！黒いイナズマ絶体絶命！」篇/ episode3.「会いたくて会えなくて会いたい」篇/ episode4.「最大の宿敵」篇 | 237 270 277 426 | 博報堂 | ピラミッドフィルム |
| ACC ゴールド | NHK エデュケーション | E テレ (テクネ映像の教室) | サウンドロゴしりとり | 100 | 電通 関西支社 | 電通クリエイティブX 関西支社 |

フィルム部門 クラフト賞

| 賞名 | 受賞者 | 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|---------|--------|--------------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------------------|
| プロデューサー | 小澤祐治 | A カテゴリー ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | エール篇/サンクス篇/ ポカリガチダンス ありがとう篇 |
| | | B カテゴリー ACC シルバー | 宮崎県日向市 | リラックスサーフ タウン日向市 | Net surfer becomes Real surfer/ヒュー！日向 |
| プロデューサー | 川口雅弘 | B カテゴリー ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年 プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |
| ディレクター | 柳沢 翔 | B カテゴリー 総務大臣賞/ ACC グランプリ | ソニー・インタラクティブエンタテインメント | GRAVITY DAZE 2 | GRAVITY CAT |
| カメラマン | クマダタカキ | A カテゴリー ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | エール篇/サンクス篇/ ポカリガチダンス ありがとう篇 |
| ライトマン | 高野翔太 | A カテゴリー ACC ゴールド 他 | ムラタ | 村田葬儀社 | 旅立ち 男性/旅立ち 女性 |
| エディター | 平澤 優 | A カテゴリー ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | エール篇/サンクス篇/ ポカリガチダンス ありがとう篇 |
| エディター | 坂巻亜樹夫 | A カテゴリー ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | エール篇/サンクス篇/ ポカリガチダンス ありがとう篇 |

| 賞名 | 受賞者 | 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|----------|--------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------|--|
| サウンドデザイン | 美登浩二 | B カテゴリー ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年 プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |
| サウンドデザイン | CMJK | B カテゴリー ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年 プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |
| 音楽 | 椎名林檎 | A カテゴリー ACC ゴールド | GINZA SIX リテールマネジメ ント | GINZA SIX | GINZA SIX メインストリー ト篇 |
| 主題歌 | 竹原ピストル | A カテゴリー 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 住友生命保険 | 1UP | 「海外、向こうで 1UP 入国 審査官の証言」篇 / 「リフレ ッシュで 1UP 常連の男の証 言」篇 / 「試験で 1UP 本人 の証言」篇 / 「メモで 1UP リーダーの証言」篇 / 「定食 で 1UP 店主の証言」篇 |

フィルム部門 小田桐昭賞

「若い CM プランナーを奨励する」ために、2013 年に設立されました。CM プランナーという日本に
しか存在しない職業を創始し発展させた小田桐昭氏の名前をタイトルにしています。

| 賞名 | 受賞者 | カテゴリー 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|-------|------|--------------------------------|-------------------------------|----------------------|---------------------|
| 小田桐昭賞 | 奥山雄太 | B カテゴリー 総務大臣賞/ ACC グランプリ | ソニー・インタラ クティブエンタテ インメント | GRAVITY DAZE 2 | GRAVITY CAT |
| | | B カテゴリー ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年 プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |

【フィルム部門 審査委員 17 名】 (株式会社・敬称略、五十音順)

< 審査委員長 >

澤本 嘉光 電通 / クリエーティブ・ボード、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

< 審査委員 >

秋山 竜次 ロバート / お笑い芸人、タレント

尾形 真理子 博報堂 / クリエイティブ・ディレクター、コピーライター

川村 元気 東宝 / 映画プロデューサー / 小説家 / 絵本作家

佐久間 宜行 テレビ東京 / プロデューサー

佐々木 宏 シンガタ / クリエイティブ・ディレクター

佐藤 カズー TBWA \ HAKUHODO / CCO、Creative Director

佐藤 雄介 電通/CMプランナー、コピーライター
 篠原 誠 電通/クリエイティブ・ディレクター
 多田 琢 TUGBOAT/クリエイティブディレクター、CMプランナー
 田中 里沙 宣伝会議/取締役メディア情報統括
 那須田 淳 TBS テレビ/プロデューサー、事業局 映画・アニメ事業部 部長
 福部 明浩 catch/クリエイティブディレクター、コピーライター
 藤井 亮 電通関西/CMプランナー、ディレクター (2016年小田桐昭賞受賞者)
 別所 哲也 俳優/「ショートショート フィルムフェスティバル&アジア」代表
 細田 守 スタジオ地図/映画監督
 吉岡 里帆 女優

■フィルム部門 A、B カテゴリー概要

【審査対象】

A カテゴリー：2016年7月1日～2017年6月30日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入の放送局で初めて放送されたCM。

B カテゴリー：2016年7月1日～2017年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。初公開日は問わない。

【地域審査会】8月初旬に7都市（札幌、秋田、新潟、名古屋、大阪、高知、熊本）で実施。

【全国審査会】一次審査：8月24日（木）～9月4日（月）、最終審査会：9月14日（木）、15日（金）

【入賞内訳】

| | | |
|-----------------------------------|-----------------|----|
| フィルム A カテゴリー (応募総数 1,139 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 10 |
| | ACC シルバー | 10 |
| | ACC ブロンズ | 22 |
| | 地域賞 | 7 |
| | ACC ファイナリスト | 40 |
| | ACC 地域ファイナリスト | 98 |

| | | |
|---------------------------------|-----------------|----|
| フィルム B カテゴリー (応募総数 402 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 3 |
| | ACC シルバー | 3 |
| | ACC ブロンズ | 9 |
| | ACC ファイナリスト | 11 |

ラジオ CM 部門
総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 広告会社 | 制作会社 |
|---------------------|----------|--|---|----------------------------|---------|-------------|
| 総務大臣賞／ ACC グランプリ | 大日本除虫菊 | おでかけカトリス・蚊がいなくなるスプレー・プレシャワー・虫よけキンチョール・キンチョール | 金鳥少年 2017 その1 金鳥少年 2017 その2 金鳥少年 2017 その3 金鳥少年 2017 その4 金鳥少年 2017 その5 | 60 60 60 60 60 | 電通 関西支社 | ヒッツコーポレーション |
| ACC ゴールド | トモエシステムズ | トモエグループ | ボンコバラトモエさん① ボンコバラトモエさん② ボンコバラトモエさん③ | 60 60 60 | 電通 関西支社 | ヒッツコーポレーション |
| ACC ゴールド | パナソニック | 全自動おそうじトイレアラウーノ | 日本男児のトイレ事情 「井村さん」篇／ 日本男児のトイレ事情 「三田村さん」篇／ 日本男児のトイレ事情 「土方さん」篇 | 90 90 90 | 電通 関西支社 | ビッグフェイス |

ラジオ CM 部門 クラフト賞

| 賞名 | 受賞者 | 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|-----------|------|----------|--------|-----------------|--|
| 企画(プランナー) | 森田一成 | ACC ブロンズ | 淀川製鋼所 | ヨド物置 | 「置きにいった CM」 篇① 「置きにいった CM」 篇② 「置きにいった CM」 篇③ 「置きにいった CM」 篇④ |
| | | ACC ブロンズ | 淀川製鋼所 | ヨド物置 エスモ | 「荷物」 篇 |
| コピーライター | 髙田紀章 | ACC シルバー | 愛眼 | メガネの愛眼補聴器 | ねえあなた |
| ディレクター | 佐藤朝子 | ACC ゴールド | パナソニック | 全自動おそうじトイレアラウーノ | 日本男児のトイレ事情 「井村さん」 篇／ 日本男児のトイレ事情 「三田村さん」 篇／ 日本男児のトイレ事情 「土方さん」 篇／ |
| ディレクター | 森田一成 | ACC ゴールド | パナソニック | 全自動おそうじトイレアラウーノ | 日本男児のトイレ事情 「井村さん」 篇／ 日本男児のトイレ事情 「三田村さん」 篇／ 日本男児のトイレ事情 「土方さん」 篇／ |

| 賞名 | 受賞者 | 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|------|-----------------|---------------------|----------|--|--|
| タレント | 野田琴乃 (高山さん) | 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 大日本除虫菊 | おでかけカトリス・ 蚊がいなくなるスプ レー・プレシャワ ー・虫よけキンチョ ール・キンチョール | 金鳥少年 2017 その 1 金鳥少年 2017 その 2 金鳥少年 2017 その 3 金鳥少年 2017 その 4 金鳥少年 2017 その 5 |
| タレント | 山隈祐太郎 (大沢くん) | 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 大日本除虫菊 | おでかけカトリス・ 蚊がいなくなるスプ レー・プレシャワ ー・虫よけキンチョ ール・キンチョール | 金鳥少年 2017 その 1 金鳥少年 2017 その 2 金鳥少年 2017 その 3 金鳥少年 2017 その 4 金鳥少年 2017 その 5 |
| タレント | 遠岳大河 (後藤くん) | 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 大日本除虫菊 | おでかけカトリス・ 蚊がいなくなるスプ レー・プレシャワ ー・虫よけキンチョ ール・キンチョール | 金鳥少年 2017 その 1 金鳥少年 2017 その 2 金鳥少年 2017 その 3 金鳥少年 2017 その 4 金鳥少年 2017 その 5 |
| タレント | 盆子原巴 | ACC ゴールド アンダー29 | トモエシステムズ | トモエグループ | ボンコバラトモエさん① ボンコバラトモエさん② ボンコバラトモエさん③ |

ラジオ CM 部門 アンダー29

優れた作品を手掛けた 29 歳以下の主制作者に贈られます。2017 年度は、7 氏・11 作品が受賞。

| 代表制作者 | 職種 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 入賞 |
|-------|-----------------------------------|----------------|----------------|---|----------------------|-----------------------------------|
| 青木美菜代 | プランナー | UQ モバイル | UQ モバイル | 鳩 | 60 | — |
| 吉田洋晃 | プランナー コピーライター | 東京ガス | ミスティ | 10 回クイズ | 20 | — |
| 福居亜耶 | コピーライター / クリエイティ ブ・プランナー | ファースト ブランド | マイベスト ジョブ | 800円 志望動機 まかない付き 制服 | 20 20 20 20 | ACC シルバー |
| 福居亜耶 | コピーライター プランナー ディレクター | トモエ システムズ | トモエ グループ | ボンコバラトモエさん① ボンコバラトモエさん② ボンコバラトモエさん③ | 60 60 60 | ACC ゴールド クラフト賞 (タレント賞 盆子原巴) |
| 福居亜耶 | プランナー コピーライター ディレクター | 上田安子 服飾専門学校 | 上田安子 服飾専門学校 | 人は見た目が | 20 | ACC ファイナリスト |
| 関 遼 | プランナー | 第一三共 ヘルスケア | 第一三共 胃腸薬プラス | 交通情報 | 40 | — |

| 代表制作者 | 職種 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 秒数 | 入賞 |
|-------|-----------------------------------|----------------------|----------------|-----------|----|-------------|
| 北 恭子 | コピーライター | 第一三共 ヘルスケア | 第一三共 胃腸薬プラス | ある機内にて | 40 | — |
| 南場雄貴 | MC | パナソニック | ICレコーダー | 石焼き芋 | 60 | — |
| 永久眞規 | MC | 日清食品 ホールディング ス | 日清の どん兵衛 | 皮編 | 60 | ACC ファイナリスト |
| 福居亜耶 | コピーライター / クリエイティ ブ・プランナー | 上田安子 服飾専門学校 | 上田安子 服飾専門学校 | 西暦 3041 年 | 20 | — |
| 青木美菜代 | プランナー | 日本郵便 | 年賀状 | 差出人 | 60 | ACC ブロンズ |

【ラジオ CM 部門 審査委員 12 名】 (株式会社・敬称略、五十音順)

< 審査委員長 >

嶋 浩一郎 (博報堂ケトル / 代表取締役社長)

< 審査委員 >

秋吉 健太 ヤフー / Yahoo! ライフマガジン 編集長
小宮山 雄飛 GENIUS AT WORK 代表取締役 / ホフディラン / 渋谷区観光大使・クリエイティブアンバサダー
澤本 嘉光 電通 / クリエーティブ・ボード、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター
東畑 幸多 電通 / グループクリエイティブ・ディレクター、CMプランナー
西田 善太 マガジンハウス / BRUTUS 編集長
橋本 吉史 TBS ラジオ / 編成局プロデューサー
秀島 史香 FM BIRD / ラジオ DJ、ナレーター
福本 ゆみ 福本ゆみ事務所 / コピーライター、クリエイティブディレクター / 俳人
細田 高広 TBWA \ HAKUHODO / シニアクリエイティブディレクター
三井 明子 アサツー ディ・ケイ / コピーライター、クリエイティブディレクター
吉田 尚記 ニッポン放送 / ビジネス開発センター ネクストビジネス戦略部副部長

■ラジオ CM 部門 概要
【審査対象】 2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日までに一般社団法人日本民間放送連盟加入放送局で初めて放送された CM。

【地域審査会】 8 月初旬に 7 都市 (札幌、秋田、東京、名古屋、大阪、高知、熊本) で実施。

【全国審査会】 9 月 7 日 (木)、8 日 (金)

【入賞内訳】

| | | |
|------------------------|-----------------|----|
| ラジオ CM (応募総数 572 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 2 |
| | ACC シルバー | 4 |
| | ACC ブロンズ | 11 |
| | ACC ファイナリスト | 33 |
| | ACC 地域ファイナリスト | 47 |
| | アンダー29 | 11 |

マーケティング・エフェクティブネス部門
総務大臣賞/ACC グランプリ、ACC ゴールド

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | キャンペーン名 | 広告会社 | 制作会社 |
|---------------------|-------------------|--------------------|--------------------------------|------|--------------|
| 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 九州全県・ 山口県・沖縄県 | ワーク・ライフ・ バランス推進 | 九州・山口 ワーク・ライフ・ バランス推進キャンペーン | 西広 | ティーアンド イー |
| ACC ゴールド | UQ コミュニ ケーションズ | UQ モバイル | 「UQ 家族」シリーズ | 電通 | AOI Pro. |

【マーケティング・エフェクティブネス部門 審査委員 11名】

(株式会社・敬称略、五十音順)

<審査委員長>

矢野 絹子 KDDI/コミュニケーション本部 宣伝部 部長

<審査委員>

上野 隆信 大塚製薬/ニュートラシューティカルズ事業部 宣伝部 課長

幼方 聡子 東レ/宣伝室長

大越 いづみ 電通 ビジネス・クリエーション・センター/
エグゼクティブ・ビジネス・クリエーション・ディレクター

大高 香世 VoiceVision/代表取締役社長

木下 一郎 電通/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

小和田 みどり ライオン/宣伝部長

清水 健 アサツー ディ・ケイ/
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター、コピーライター

能登 健裕 東急エージェンシー/エクスペリエンス クリエイション センター 副センター長、
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

藤井 久 博報堂／執行役員(クリエイティブ担当)
 山口 有希子 日本アイ・ビー・エム／マーケティング&コミュニケーション
 デジタルコンテンツマーケティング&サービス 部長

■マーケティング・エフェクティブネス部門 概要

【審査対象】

戦略的かつ効果的な広告活動を展開した企画で、2016年7月以降も継続している企画（キャンペーン）であること。2016年7月1日～2017年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において当該キャンペーンのテレビもしくはラジオCMが放送されている、もしくは同期間に、Web上で当該キャンペーンのムービー及びサウンドコンテンツが公開されていること。

【審査会】 1次審査：7月12日（水）～25日（火）、2次審査会：8月1日（火）
 最終審査会：9月12日（火）

【入賞内訳】

| | | |
|----------------------------------|-----------------|----|
| マーケティング・エフェクティブネス (応募総数 87 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 1 |
| | ACC シルバー | 2 |
| | ACC ブロンズ | 4 |
| | ACC ファイナリスト | 12 |

.....

インタラクティブ部門
総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 広告会社 | 制作会社 |
|-----------------|-------------------------------|-----------------|---|-----------------------|-----------|
| 総務大臣賞／ACC グランプリ | 東京都／東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | — | リオ 2016 オリンピック大会閉会式東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー | 電通 | FHO 制作チーム |
| ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40周年プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY | SIX／博報堂／コスモ・コミュニケーション | AOI Pro. |
| ACC ゴールド | 大塚製薬 | ポカリスエット | 「ガチダンス フル」篇 | 電通 | ギークピクチャーズ |

インタラクティブ部門 カテゴリー賞

| 賞名 | 広告主 | 商品名 | 題名 | 広告会社 | 制作会社 |
|-------------------------------|-------------------|--------------------|---|-------------------------|---|
| オウンドメディア | ヤマト運輸 | 企業 | ヤマト運輸コーポレート サイトリニューアル | 博報堂 | 博報堂アイ・スタ ジオ |
| Web キャンペーン | 森永製菓 | inゼリー | フレフレ、部活。母校に inゼリー | 電通 | 電通テック |
| オンラインビデオ | 有楽製菓 | ブラックサンダー | 非リア VS リア充ラップ バトル episode3。「会いたくて会えなくて会いたい」篇 | 博報堂 | ピラミッドフィル ム |
| モバイル | Line | アカウント 乗っ取り対策啓蒙 | LINE サイバー防災訓練 | 博報堂 | AOI Pro./エイド・ ディーシーシー |
| デジタル・ツール+ ウェアラブル・ デバイス | 博報堂 | Pechat | Pechat | 博報堂 | 博報堂アイ・スタ ジオ/博報堂プロ ダクツ/東北新社 |
| アウトドア・メデ ィア+デジタル・ サイネージ | 麒麟ビール | のどごしサマー スペシャル | のどごしサマースペシャル | 電通 | テー・オー・ダブ リュー/RYDEN /ellroy |
| リアルイベント× インタラクティブ | グーグル | YOUTUBE FANFEST | PPAP LIVE @ YOUTUBE FANFEST | 電通/PARTY | 太陽企画 |
| マスメディア× インタラクティブ | サントリー ホールディングス | サントリーチュ ーハイほろよい | ほろよいエリカ電話 | 風とロック/ 博報堂ケトル/ 大広 | 東北新社/ 大広 ONES |
| ソーシャルメディア | 日清食品ホール ディングス | 日清のどん兵衛 | クリスチャンラッセン かき揚げを、描きあげる。 | 電通/ 佐々木宏ジム所 | CLIVER/ellroy/ RYDEN |
| ソーシャルメディア | ネスレ日本 | ネスレ日本 | バレンタインポスト | PARTY | BIRDMAN |
| ブランデッド・ コンテンツ | フィッシャーマン ・ジャパン | FISHEMAN JAPAN | 世界初! 漁師によるモー ニングコールサービス FISHERMAN CALL | 電通 | 電通/ピラミッド フィルムクアドラ |
| キャンペーン・ インテグレーション | 小学館 | 名探偵コナン | 2億冊事件/ コナン顔メーカー | 電通 | 電通パブリックリ レーションズ/ CLIVER/ワークア ップたき/切札/ S2 ファクトリー |
| ニューテクノロジー | 日本電信電話/ 松竹 | Kirari!歌舞伎 | Kirari!歌舞伎 | — | 株式会社ネイキッ ド/AOI Pro. |
| 広告的発明 | ユニクロ | ユニクロ キッ ズ | はじめてのコーディネ ート体験 MY FIRST OUTFIT | 博報堂 | ロボット |
| オンラインアド | 該当作品なし | | | | |

インタラクティブ部門 クラフト賞

| 賞名 | 受賞者 | 入賞 | 広告主 | 商品名 | 題名 |
|------------------|-------------|---------------------|-------------------------------|------------------|---|
| 特別賞 | THE TEAM | 総務大臣賞/ ACC グランプリ | 東京都/東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | — | リオ 2016 オリンピック & パラリンピック大会閉会式 東京 2020 フラッグハンド オーバーセレモニー |
| 音楽ディレクター | CMJK | ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |
| 音楽プロデューサー | 美登浩二 | ACC ゴールド | ビームス | BEAMS40 周年プロジェクト | TOKYO CULTURE STORY |
| タイポグラフィードザイン | 小山秀一郎 | — | パナソニック | パナソニック補聴器 | MISHEARD FONT |
| フィルムディレクター | 柳沢 翔 | ACC ブロンズ | ソニー・インタラクティブエンタテインメント | GRAVITY DAZE 2 | GRAVITY CAT |
| イラスト (ART WORKS) | クリスチャン・ラッセン | カテゴリー賞 (ソーシャルメディア) | 日清食品ホールディングス | 日清のどん兵衛 | クリスチャンラッセン かき揚げを、描きあげる。 |

【インタラクティブ部門 審査委員 13名】

(株式会社・敬称略、五十音順)

< 審査委員長 >

須田 和博 博報堂/エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

< 審査委員 >

大八木 翼 SIX/クリエイティブディレクター、共同執行責任者

落合 陽一 筑波大学 学長補佐、助教/Pixie Dust Technologies CEO

倉又 俊夫 日本放送協会 (NHK) /放送総局 デジタルコンテンツセンター 副部長

小池 博史 インタラクティブコミュニケーションエキスパート 理事長/
イメージソース 代表取締役/ノングリッド 代表取締役

齋藤 精一 Rhizomatiks/Creative Director、Technical Director

白井 明子 ローソン/デジタルプラットフォーム部シニアマネジャー

白土 謙二 フリーランス/思想家

菅野 薫 電通/CDC、グループ・クリエイティブ・ディレクター
Dentsu Lab Tokyo/クリエイティブ・テクノロジスト

田中 耕一郎 PROJECTOR/クリエイティブディレクター

刀田 聡子 宣伝会議/月刊『ブレイン』副編集長

馬場 鑑平 バスキュール／クリエイティブ・ディレクター
 横澤 大輔 ドワンゴ／専務取締役 CCO

■インタラクティブ部門 概要

【審査対象】 2016年6月1日～2017年6月30日の間にローンチもしくはリニューアルして展開されたすべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みを対象とする。

【審査会】 オンライン一次審査 8月10日（木）～8月23日（水）、最終審査会 9月5日（火）

【入賞内訳】

| | | |
|--------------------------|-----------------|----|
| インタラクティブ (応募総数 184 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 2 |
| | ACC シルバー | 4 |
| | ACC ブロンズ | 7 |
| | ACC カテゴリー賞 | 14 |

.....

メディアクリエイティブ部門
 総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド

| 賞名 | エントリータイトル | 媒体社 | 広告主 | 広告会社 | 制作会社 |
|---------------------|-----------------------------|--------------|--------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 総務大臣賞／ ACC グランプリ | 該当なし | | | | |
| ACC ゴールド | 歩くーぽん | 琉球放送 | 琉球放送 | 博報堂 DY メディア アパートナーズ／ 博報堂 | 琉球放送／ 博報堂プロダクツ |
| ACC ゴールド | INTERACTIVE LiVE CM | 日本テレビ 放送網 | キリンビール | 電通 | 日本テレビ放送網／ 日テレアクセスオン／ HAROiD |
| ACC ゴールド | オロナミン C 『20 年分の ありがとう新聞』 | 朝日新聞社 | 大塚製薬 | アサツー ディ・ ケイ | クリエイターズグルー プ MAC／ADK アーツ／ アドレイ |

【メディアクリエイティブ部門 審査委員 11名】

(株式会社・敬称略、五十音順)

<審査委員長>

小山 薫堂 放送作家／脚本家／京都造形芸術大学 副学長

<審査委員>

佐藤 宏 広島テレビ放送／報道制作局長

嶋田 三四郎 博報堂 DY メディアパートナーズ／エクゼクティブマネージャー、
メディアコンテンツプロデューサー

立本 洋之 フジテレビジョン／編成局次長

谷口 洋一 テレビ朝日／営業局 メディアマーケティング部 部長

村本 美知 アサツー ディ・ケイ／コンテラストプランニング本部 リ・マーケティング局 局長

森川 亮 C Channel／代表取締役

森田 太 エフエム東京／執行役員 編成局長 兼 グランド・ロック代表取締役

湯川 昌明 電通／ラジオテレビ局 局長補

和田 龍夫 サントリーコミュニケーションズ／執行役員 宣伝・デザイン本部 副本部長
兼 宣伝部長

和田 直樹 トヨタマーケティングジャパン／メディアプランナー

■メディアクリエイティブ部門 概要

【審査対象】

メディアのアセットを活用したクリエイティビティにより、新たな情報発信・コミュニケーションを実現し、広告主の課題解決に貢献した仕掛けや取り組みを評価する。2016年1月1日から2017年6月30日の間に実施された放送、または出稿されたものを対象に審査。

【審査会】 オンライン一次審査 8月8日（火）～24日（木）、最終審査会 9月6日（水）

【入賞内訳】

| | | |
|-----------------------------|-----------------|---|
| メディアクリエイティブ (応募総数 148 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 0 |
| | ACC ゴールド | 3 |
| | ACC シルバー | 4 |
| | ACC ブロンズ | 5 |
| | ACC ファイナリスト | 9 |
| | 特別賞:エリア&コミュニティ賞 | 4 |

.....

**クリエイティブイノベーション部門
総務大臣賞／ACC グランプリ、ACC ゴールド**

| 賞名 | エントリータイトル | カテゴリー | 応募団体 |
|---------------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| 総務大臣賞／ ACC グランプリ | COGY/あきらめない人の車いす | プロダクト&サービス | TESS/東北大学/M2 デザイン/ TBWA\HAKUHODO |
| ACC ゴールド | 服づくり 4.0「WE ARE」 | プロダクト&サービス | シタテル |

【クリエイティブイノベーション部門 審査委員 12 名】

(株式会社・敬称略、五十音順)

<審査委員長>

暦本 純一 東京大学 教授/ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長

<審査委員>

- 安宅 和人 ヤフー/CSO (チーフストラテジーオフィサー)
- 池澤 あやか タレント/クリエイター
- 稲田 雅彦 カブク/代表取締役 CEO
- 井上 裕太 \QUANTUM/Startup Studio 事業責任者
- 佐々木 紀彦 ニュースピックス/編集長、取締役
- 佐々木 康晴 電通/第4CR プランニング局長、デジタル・クリエーティブ・センター長、
エグゼクティブ・クリエーティブ・ディレクター
- 鈴木 雅穂 トヨタ自動車/未来プロジェクト室 室長
- 野添 剛士 SIX/クリエイティブディレクター、代表取締役
- 深田 昌則 パナソニック/アプライアンス社 Game Changer Catapult 代表
- 朴 正義 バスキュール/代表取締役、クリエイティブディレクター
- 森岡 東洋志 1-10drive/CTO、テクニカルディレクター

■クリエイティブイノベーション部門 概要

【審査対象】

未来を作り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で生み出されたプロダクト&サービスとプロトタイプが対象。2016年1月1日から2017年6月30日の間に上市または社会実装されたプロダクト&サービスおよび同期間に生み出されたプロトタイプであること。

【審査会】 オンライン一次審査 7月10日(月)～19日(水)、二次審査会 7月25日(火)
最終審査会(公開) 9月11日(月)



【入賞内訳】

| | | |
|------------------------------------|-----------------|----|
| クリエイティブ イノベーション (応募総数 109 本) | 総務大臣賞/ACC グランプリ | 1 |
| | ACC ゴールド | 1 |
| | ACC シルバー | 1 |
| | ACC ブロンズ | 2 |
| | ACC ファイナリスト | 15 |

- 注 1 -

< 審査講評 フィルム部門 審査委員長 澤本嘉光 氏 >

大変学びの多い審査会でした。まず、多様なジャンルから参加いただいた審査委員のメンバーを確認していただくと推測できると思うのですが、審査会自体が映像を扱う部門には大変刺激的な勉強の場となりました。

テレビ CM 部門がフィルム部門と名前を変えて 3 年。15 秒、30 秒・・・とテレビ CM として秒数が制限された A カテゴリーと、web 動画として時間の制限のない B カテゴリー。CM 制作者としては制約のない B カテゴリーの方が表現的に豊かになってきている感覚がありましたが、参加いただいた映画、テレビ界を代表する審査委員からは、制約がある A カテゴリーの表現の方に感心するものが多く、逆に B は自分たちが作ればさらに良くできる予感がする、という指摘を頂き、いかに自分たちが近視眼になっているかの気づきとなりました。

とにかく広告業界は自分たちで閉じてしまわず「映像」という広い海原で他の種類の映像を創造していく方々と共に切磋琢磨することが大事だと考えます。その点で、映画、テレビドラマ、バラエティー、女優、と立場の違う映像界の才能が違った視点から今までの審査会の議論では交わされなかったような意見を交換しながら選んだ受賞作、制作者は胸を張ってほしいと思います。そして、地方からの出品で最終選考で上位を争う力作が多くなってきているのも大きな特徴だということを付記しておきます。是非ご確認下さい。

< 審査講評 ラジオ CM 部門 審査委員長 嶋浩一郎氏 >

とにかく楽しい審査で示唆に富んでいました。審査の時一番に考えたことが、ラジオを聴いている人にリアルに響く広告であるかどうか。そういうわけで、審査には我々広告制作者だけでなく、ラジオ放送やリスナーの気持ちに精通している番組の制作者やパーソナリティを務める方にも参加いただきました。実際にラジオでしゃべられている方は、絶えずリスナーの反応を計算しながらトークをしているわけで、掛け合いにおける間のつくり方や、音の作り込みに対するリスナーの反応などリアリティのある指摘が多く刺激的でした。radiko やスマートスピーカーの登場でラジオを聴く人達やシチュエーションも変わっていくのではなど、ラジオ放送の未来についても議論が活発に行われました。

グランプリは大日本除虫菊の〈金鳥少年 2017〉を選出しました。このシリーズは昨年の受賞作でもあるのですが、複数年にわたりラジオリスナーの心を捉えるストーリーを紡ぎだした点も評価されました。ラジオは人々の日々の生活に寄り添うメディアで、反復して聴かれるメディアです。そういうメディアの中で CM だって一つのコンテンツとして楽しんでもらっていいはず。大沢さんと高山さんの二人の絶妙な掛け合いや、計算され尽くされたコピーも高く評価されました。

< 審査講評 マーケティング・エフェクティブネス (ME) 部門 審査委員長 矢野絹子氏 >

「マーケティング戦略×クリエイティビティ」でいかに「成果」につなげたかを評価するのが ME 部門ですが、課題もクリエイティブも多様化する中、今年も様々な「効いた！」キャンペーンが集まり、何度も投票を繰り返すほど難易度の高い審査となりました。

今年のキーワードは「社会的課題の解決」と「圧倒的リザルト」。

グランプリに輝いた九州全県・山口県・沖縄県の「九州・山口 ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」は、ワーク・ライフ・バランスという国家的課題に対し、県知事自らが地域の枠を超え、公報ではなく「広告」という手法を使ってアプローチした点が斬新で、国内外に広く影響を与えたことが高評価につながりました。

ゴールドに選ばれた UQ コミュニケーションズ「UQ 家族シリーズ」は、後発ブランドの認知度を短期間に上げるという課題に対し、一度見たら覚えてしまう強いクリエイティブ力で一気にブランド名を浸透させており、まさに ME 賞にふさわしいリザルトでした。

これまで広告では取り上げにくかった課題にチャレンジしたロート製薬「dotest ふたり妊活キャンペーン」、服を選ぶという“体験”に着目したユニクロ「はじめてのコーディネート体験 MY FIRST OUTFIT」がシルバーに選ばれたことにも ME 部門の広がりを感じていただけるのではないかと思います。来年はさらに進化した「効いた！」に出会えることを期待しております。

< 審査講評 インタラクティブ部門 審査委員長 須田和博氏 >

ACC 賞インタラクティブ部門、4 年目。須田が審査委員長を拝命して 2 回目の今年、掲げたテーマは「ソレって広告なの？」→「コレこそ広告でしょ！（21 世紀のね）」だった。去年の問いをさらに進めて、まだ見ぬ「新しい広告のカタチ」を見つけたいと思った。「広告とは何か？それは、この先、どういうカタチになっていくのか？」ずっとそれが気になっている。

広告産業は明らかに過去 50 年とは違うものになりつつある。かつて「インターネット広告」と呼ばれたものの土台が、コミュニケーション全体のインフラとなった結果、人々の「当たり前の行動」が大きく変わり、すべての産業と同様に広告産業も違うものになる。その「デジタル・シフト」の渦中で、昨年今年と、多数の応募をいただき、様々な「取り組み」を拝見した。

しかし、今年の審査で再確認したことは「映像的なモノの、圧倒的な強さ」だった。グランプリの「リオ 2016 オリンピック大会閉会式東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー」も、ゴールドの BEAMS40 周年プロジェクト「TOKYO CULTURE STORY」もポカリスエット「ガチダンス フル」篇も、視聴や受容のされ方は従来の CM 映像とはまったく違うが「映像的なモノの、圧倒的な強さ」があった。

シルバーも、何かしら映像的なモノが大半を占める。20 世紀のワインを、21 世紀のボトルに入れる。それもひとつの効果的な未来の広告のカタチ。そして、ブロンズと各カテゴリー賞に種々様々なカタチの取り組みが集まった。

これからの広告産業の本当の姿は、まだ誰にもわからないが、最後にパーソナルコンピューターの父といわれるアラン・ケイの有名な言葉をもじって筆を置くことにする。「未来の広告を知る最善の方法は、それを自ら作り出すことである。」審査委員団の皆さま、2 年間ありがとうございました！

< 審査講評 メディアクリエイティブ部門 審査委員長 小山薫堂氏 >

メディアクリエイティブ部門の審査会は、刺激も多く勉強になり、そして何より楽しかった。CM、テレビ、ラジオ、ネット、さらにクライアントまで、メディアのクリエイティブにかかわるオールジャンルの人が集い、それぞれの立場から出される意見には、新しい時代のヒントが溢れていたように思う。集まった作品には、メディアのジャンルによって様々な特徴が見られた。苦しんでいる分、他のジャンルよりも工夫を重ねている印象があった新聞、クリエイティブのレベルは安定しているものの、新しい何かを模索しようと、他のメディアと手を組んでいたテレビなど。

そうした中で、評価のポイントに置いたのは、「ちゃんと結果が出ているか」ということ。クライアントあるいは、作り手のゴールテープがきちんと切れているもの、広く世の中に浸透しているものを評価する・・・これをひとつの指標とした。

新設ジャンルへの期待が高すぎたあまり、残念ながら今回グランプリは出なかったが、惜しくもあと一步のところまでゴールドに留まった「歩くーぽん」は、放送局が中心となって運動不足という課題解決に取り組み、テレビCMを使いながら地域の人々に呼びかけ、さらにスマートフォンアプリを使って店舗に集客していく、というアイデアがとてもよかった。

アイデアとは「何を作り上げるか」ということと同じくらい、「誰と出会うか」が大切で、その「誰」は「人」の場合もあれば、「メディア」という場合もある。どのメディアに、どのアイデアが出会うかでそのアイデアが最大化されていく。そんなクリエイティブに大きな可能性を感じた審査会だった。

< 審査講評 クリエイティブイノベーション部門 審査委員長 暦本純一氏 >

ACC クリエイティブイノベーション部門は今年初めて開設された賞で、今回受賞された作品が今後のこの部門を形作ると言って過言ではありません。

これまでイノベティブの賞はいろいろありましたが、この ACC 賞はイノベティブであり、現実の課題に取り組み、解決しているものはもちろん、未来を創る可能性のある研究段階のものもきちんと認めようという方針で募集いたしました。

初年度から予想を越えた多数の応募をいただきました。優れた提案でありながら、最終審査会場に来られなかった作品もたくさんありました。その中で、残られた方々は本当におめでとうございます。皆様それぞれの技術や作品、商品にはそれぞれとても魅力があり、個性的で、一つひとつが独立の賞というような、優劣をつけるのがとても難しい審査でした。

今回、形作られたこの賞を目指して、来年応募してくる方もいると思います。

これからも、クリエイティブイノベーションの世界を広げ、この賞を盛り立てていただけますようお願いいたします。

以上